

科目	体表解剖学(PT治療学)	担当	古川 公宣	履修学年	2年
時間数	90分×時限×8回(週1回)	履修区分	必修	単位数	1単位

【授業目標・到達目標】

1年生で学んだ解剖学の知識をもとに、体表からの触察技術を学習する。骨、筋、靭帯、脈管など主要な箇所の触察ができるようになる事、対象筋の効果的な収縮誘発方法、関節運動の確認ができるようになることを目的とする。

【履修注意】

実技主体の講義のため、触診部分を露出しやすい服装(Tシャツ、短パン)で参加すること。
触診技術は理学療法施行時に必要不可欠な技術であるため、積極的に実技を行ない習得に努めること。

【評価方法】

定期試験、出席状況、受講態度等を総合的に判断する。

【試験について】

筆記試験

再試験対象者の条件:60点未満を対象とする

【予習・復習】

講義に先立ち、教科書で必ず予習を行っておくこと。解剖学の知識が必須であるため、必ず確認しておくこと。

【教科書】

書籍名:運動療法のための機能解剖学的触診技術 上肢,下肢・体幹 著者:林 典雄 出版社:メジカルビュー(上肢,下肢・体幹)

【参考書】

指定しない

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	上肢1	肩関節,上腕周囲の筋,骨及び靭帯
2	上肢2	肘関節,前腕周囲の筋,骨及び靭帯
3	上肢3	前腕以遠の筋,骨及び靭帯
4	体幹	脊柱触診,体幹の筋,骨及び靭帯
5	下肢1	股関節,大腿周囲の筋,骨及び靭帯
6	下肢2	膝関節,下腿周囲の筋,骨及び靭帯
7	下肢3下	腿以遠の筋,骨及び靭帯
8	定期試験	1~7コマの復習・確認・まとめ
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		